

□ 総合学術研究科保健福祉学専攻博士課程前期 (令和6年度入学生用)

	授業科目の名称	配当年次	学 期 単 位 数					授業時	担 当 者 ( ) 内非常勤	備 考
			前期	後期	必修	選択	自由			
共通科目	保健医療福祉研究法総論	1・2	○		2			青井・金井・西田・小澤・細羽	10単位以上修得	
	統計解析学特論	1・2		○	2		30	飯田・西上・古屋		
	質的調査法特論	1・2		○	2		30	黒田・織田・田中聡子		
	アカデミックスキルズ	1・2	○		2		30	長谷川正・高木・渡辺眞		
	コミュニケーション特論 (英語プレゼン)	1・2		○	2		30	吉川・オムニバス		
	リハビリテーション科学特論	1・2	前期集中		2		30	西上・田中睦・矢守		
	保健医療福祉管理学特論	1・2	後期集中		2		30	菅井・奥田		
	医療福祉倫理学特論	1・2	前期集中		2		30	(上野)・吉川		
	保健福祉専門職教育特論	1・2	○		2		30	山中・池田・梅井		
	作業科学特論	1・2	後期集中		2		30	吉川・高木		
	がん医療・エンドオブライフケア特論	1・2	後期集中		2		30	黒田・田中聡・(小原)		
	地域医療福祉学特論	1・2	後期集中		2		30	田中聡子・上野陽・坊岡		
	発達学特論	1・2	○		2		30	島谷・助川・堀江		
	生体情報計測学特論	1・2	前期集中		2		30	金井・積山		
	女性の健康支援論	1・2	後期集中		2		30	宮下・沖西		
	高齢者医療福祉特論	1・2		○	2		30	國定・渡辺陽・森		
授業科目の概要	免疫学特論	1・2	○		2		30	加藤洋		
	公衆衛生活動特論	1・2		○	2		30	俵		
	母性看護学特論	1・2	○		2		30	上野陽		
	健康科学特論	1	○		2		30	安武		
	地域保健学特論	1	○		2		30	岡田 <sup>ゆ</sup>		
	地域包括ケア特論	1	○		2		30	菅井		
	がん・慢性看護学特論	1	○		2		30	黒田		
	生涯発達看護学特論	1	○		2		30	松森		
	成人看護学特論	1	○		2		30	岡田 <sup>淳</sup>		
	基礎看護学特論	1	○		2		30	青井・奥田		
	精神看護学特論	1	○		2		30	井上		
	ウィメンズヘルス看護学特論	1	○		2		30	宮下		
	医療情報統計学特論	1	○		2		30	飯田		
	地域保健学・実践看護学演習 <sup>※2</sup>	1		○	4		60	安武・岡田 <sup>ゆ</sup> ・黒田・松森・岡田 <sup>淳</sup> ・青井・井上・宮下・飯田・菅井・奥田		
	地域保健学・実践看護学特別研究 <sup>※2</sup>	1~2		○	10		300	安武・岡田 <sup>ゆ</sup> ・黒田・松森・岡田 <sup>淳</sup> ・青井・井上・宮下・飯田・菅井・奥田		
	専門科目	内部障害リハビリテーション学特論	1	○		2		30		積山
脳神経機能学特論		1	○		2		30	森		
運動障害評価学特論		1	○		2		30	小野		
機能・形態障害治療学特論		1	○		2		30	田中聡		
筋・骨格系障害疼痛治療学特論		1	○		2		30	西上		
人体動態解析学特論		1	○		2		30	金井		
発達科学特論		1	○		2		30	島谷		
医療ヘルスイノベーション特論		1	○		2		30	長谷川正		
医療教育学特論		1	○		2		30	梅井		
運動行動障害学演習 <sup>※2</sup>		1		○	4		60	森・小野・田中聡・西上・金井・島谷・長谷川正・梅井・積山		



□ 総合学術研究科保健福祉学専攻博士課程後期 (令和4年度以降入学生用)

	授業科目の名称	配当 年次	学 期		単 位 数			授業 時間 数	担 当 者 ( ) 内非常勤	備 考
			前期	後期	必修	選択	自由			
授 業 科 目 の 概 要	共 通 科 目	地域課題解決特論	1	○		2		30	田中 <sup>聡子</sup> 、岡田 <sup>洋</sup> 、安武、藤巻	4単位以上修得
		先端医療技術特論	1	○			2	30	西上、市村、(浦川)	
		情報伝達技術特論	1	○			2	30	開講せず	
		保健福祉サービス・アウトカム特論	1		○		2	30	飯田、安武、田中 <sup>聡子</sup>	
		専門能力開発特論	1	○			2	30	黒田、津森、久野、(蒲)	
	専 門 支 持 科 目	職種間連携マネジメント特論	1	○			2	30	吉川、金子、(沖田)	4単位以上修得
		生涯発達支援統合特論	1		○		2	30	林、松森	
		高齢者支援統合特論	1	○			2	30	岡田 <sup>洋</sup> 、西田、久野、伊集院、國定	
		ヘルスプロモーションシステム特論	1	○		2		30	黒田、青井、田中 <sup>聡</sup> 、森、細羽	
	専 門 科 目	地域保健学・実践看護学特別講義	1		○		2	30	岡田 <sup>ゆ</sup> 、松森、岡田 <sup>洋</sup> 、青井、黒田、津森	16単位以上修得
		地域保健学・実践看護学特別演習	1		○		2	30	岡田 <sup>ゆ</sup> 、松森、岡田 <sup>洋</sup> 、青井、黒田、津森	
		地域保健学・実践看護学特別研究Ⅰ	1		○		4	120	岡田 <sup>洋</sup> 、黒田、津森、松森	
		地域保健学・実践看護学特別研究Ⅱ	2		○		4	120	岡田 <sup>洋</sup> 、黒田、津森、松森	
		地域保健学・実践看護学特別研究Ⅲ	3		○		4	120	岡田 <sup>洋</sup> 、黒田、津森、松森	
		運動行動障害学特別講義	1		○		2	30	田中 <sup>聡</sup> 、西上、森、小野	
		運動行動障害学特別演習	1		○		2	30	田中 <sup>聡</sup> 、西上、森、小野	
		運動行動障害学特別研究Ⅰ	1		○		4	120	西上、森田中 <sup>聡</sup>	
		運動行動障害学特別研究Ⅱ	2		○		4	120	西上、森、田中 <sup>聡</sup>	
		運動行動障害学特別研究Ⅲ	3		○		4	120	西上、森、田中 <sup>聡</sup>	
		作業遂行障害学特別講義	1		○		2	30	西田、久野、藤巻、吉川	
		作業遂行障害学特別演習	1		○		2	30	西田、久野、藤巻、吉川	
		作業遂行障害学特別研究Ⅰ	1		○		4	120	西田、久野、藤巻、吉川	
		作業遂行障害学特別研究Ⅱ	2		○		4	120	西田、久野、藤巻、吉川	
		作業遂行障害学特別研究Ⅲ	3		○		4	120	西田、久野、藤巻、吉川	
		コミュニケーション障害・脳科学特別講義	1		○		2	30	伊集院、小澤、原田 <sup>俊</sup> 、矢守	
		コミュニケーション障害・脳科学特別演習	1		○		2	30	伊集院、小澤、原田 <sup>俊</sup> 、矢守	
		コミュニケーション障害・脳科学特別研究Ⅰ	1		○		4	120	伊集院、小澤、原田 <sup>俊</sup> 、矢守	
		コミュニケーション障害・脳科学特別研究Ⅱ	2		○		4	120	伊集院、小澤、原田 <sup>俊</sup> 、矢守	
		コミュニケーション障害・脳科学特別研究Ⅲ	3		○		4	120	伊集院、小澤、原田 <sup>俊</sup> 、矢守	
	ヒューマンサービス特別講義	1		○		2	30	金子、住居、田中 <sup>聡子</sup> 、細羽、大下		
ヒューマンサービス特別演習	1		○		2	30	金子、住居、田中 <sup>聡子</sup> 、細羽、大下			
ヒューマンサービス特別研究Ⅰ	1		○		4	120	金子、住居、田中 <sup>聡子</sup> 、細羽、大下			
ヒューマンサービス特別研究Ⅱ	2		○		4	120	金子、住居、田中 <sup>聡子</sup> 、細羽、大下			
ヒューマンサービス特別研究Ⅲ	3		○		4	120	金子、住居、田中 <sup>聡子</sup> 、細羽、大下			

【修了要件】

博士後期課程に3年以上在学し、24単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格すること。

【履修上の注意】

共通科目は必修2単位を含む4単位以上、専門支持科目は必修2単位を含む4単位以上を修得する。  
 専門科目の特別講義・特別演習は、主研究指導教員が属する分野・領域以外から履修し、各2単位修得する。  
 研究指導教員が担当する特別研究Ⅰ、特別研究Ⅱ、特別研究Ⅲを履修し、12単位を修得する。